

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	農林水産省「農業生産工程管理」JGAP (Japan Good Agricultural Practice) の認証を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	自社HP、パンフレットなどのツールを活用し、情報開示に努めている												12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】自社で導入可能な再生エネルギーを検討する							7.2							13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	JGAPに基づき、天然資源の適切な調達に努めている												12.2	13	14	15				
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正に対する懲罰規定を設定し、社員に周知徹底している。																	16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】外部専門家による研修を実施し、不正競争防止法に関する知識を社員に提供する																		16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	【予定】外部専門家による研修を実施し、知的財産権に関する知識を社員に提供する							8.2		9										
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	{個人情報に不正に対する懲罰規定を設定し、社員に周知徹底している。																			16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物は取り扱っていないことを確認している																			16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応 (ハラスメント・汚職・贈収賄防止) について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先とはコミュニケーションを密にし、お互いのビジネスの価値観、理念を共有したうえで事業に取り組んでいる。					5				8			10		12	13	14	15	16	17
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	JGAPに基づき、生産から販売までの安全性を確保する工程管理を徹底している			3.9										12.4						
29	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	関連会社の(株)白馬そだちを通じて直接消費者とコミュニケーションを取り、自社生産品、加工商品、付帯サービスの品質、サービスを継続的に向上させている																9			
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	有機栽培を推進し、「信州の環境にやさしい農産物」「エコファーマー」認証を受けている						6						12	13	14	15				
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	自社で生産している「コシヒカリ」が、農薬・化学肥料の使用を厳しく制限している長野県の「認定米」に認定されている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

